

# 図書だより

第6号

令和5年9月27日 発信  
富田中学校図書室



## 本×スポーツ

「秋」といえば、芸術の秋や食欲の秋など過ごしやすい季節というイメージがあるでしょう。今回はその中でもスポーツと本との関係についてご紹介します。

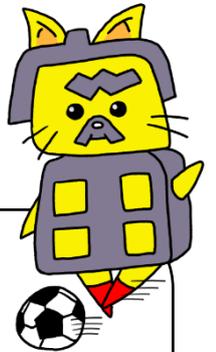
本校では9月30日に体育祭があり、夏休みから準備をしてきています。また、多くの部活動で周南市新人体育大会が行われました。

スポーツを題材にした小説やHow to本がありますが、みなさんが思う本とスポーツの関係とは何ですか。

新聞や雑誌、SNSでプロスポーツ選手が読んだ本を紹介していることがあります。憧れの選手と同じ本を読むことも、本とスポーツとの関連の一つです。

体を動かすことに加え、読書で頭も動かしてスポーツを楽しみましょう！

## 図書委員長より



スポーツを題材にした小説は図書室にもたくさんあります。

その中で私がオススメするのは『ブルーロック』という本です。

この話は負けたら二度とプロになれないという恐ろしい状況の中で、300人の高校生たちが「世界一のストライカー」になるために争い合う話です。コーチの言葉や夢を叶えるために本気で戦う高校生たちの姿に、サッカーをしている人だけでなく、今、何かに向かって頑張っている人にも共感できることや、学ぶことが多いと思います。

原作はマンガですが、図書室に小説版が置いてあるので、借りてみてください。

## 学校図書館司書より

先日は、バスケットワールドカップにおいて、日本男子チームの大逆転にとっても興奮しましたね。バスケットボールは、身長の高いほうが有利と言われますが、小柄な日本人選手が、体の大きな外国人選手と互角に戦っている様子に、「SLAM DUNK」の漫画の内容になぞらえて、さらに興奮している人もいましたよね。

漫画などの物語の世界であれば、現実にはあり得ないことが簡単に起こります。しかし、このように予想できない展開が現実でも起こってしまうのが、スポーツという世界の面白いところです。

富田中学校には、スポーツを題材にした漫画や本もたくさんそろっていますよ。本が苦手なあなたも、興味のあるスポーツの本から読み始めてみませんか？



# 「図書室からのオススメ」

**書名** : ひとすじの光を辿れ  
**著者** : 白川三兎  
**出版社名** : 新潮社

ゲートボールに、あなたはどのようなイメージをもっているでしょうか。広場でのんびり行われているイメージでしょうか。実は素早く状況判断をし、正確かつ先を見通したショットを打たねばならない競技なのです。

この作品はゲートボール部を創部するために、大会で優勝をめざす3人の高校生が登場します。ゲートボールの定石を学び、作戦を練り、練習をする中で3人の中は何にも代えがたいものに変化していきます。

**書名** : あめつちのうた  
**著者** : 朝倉宏景  
**出版社名** : 講談社

野球を題材にした作品は数多くありますが、この作品はグラウンド整備士が主人公です。

スポーツを通じて絆を作り、深めるのは中高生だけではありません。社会人になってもそれができるのだと、この作品を通して実感することができます。また、競技者とそれを支える人との関係性もわかることでしょう。

プロスポーツ選手になりたい人も、スポーツに関わる職に興味がある人も読んでみてください。

**書名** : 夏の陰  
**著者** : 岩井圭也  
**出版社名** : KADOKAWA

殺人事件の被害者家族と加害者家族。互いに暗い思いを抱えて生きていた2人は、スポーツをとおして何を感じたのでしょうか。

心理描写の丁寧さはもちろん、迫力のある試合シーンは読み応えがあります。

事件の謎が明かされていくたびに、やるせない思いをいただくでしょう。しかし、登場人物の今後が今よりもよいものであってほしいと、願わずにいられなくなります。

**書名** : SLAM DUNK  
**著者** : 井上雄彦  
**出版社名** : 集英社

「スポーツ漫画といえば？」と聞かれて、『SLAM DUNK』を思い浮かべる人が多いと思います。1996年に連載が終了したこの作品は、今でも映画化されたり、新装版が発売されたりしています。

バスケットボール初心者の桜木花道が、チームメイトとぶつかりながらも成長していく姿が描かれています。読んだらきっと「バスケがしたく」なりますよ。